

おかげさまで今年度も連載継続となりました。5年目に突入し、とてもうれしいです。元小学校教員で元芸人である経歴を生かして、今は大学教員として「エデュテイメント」を実践しています。エデュテイメント【educationment】は教育【education】と娯楽【entertainment】を合わせた造語でその相互の良さを生かすさまざまな教育手法です。

④ 吉本新喜劇
×サイエンス



笑って学べる舞台の脚本に挑戦



が、今回はお笑いの世界で教育の要素を取り入れた実践ができる機会をいただきました。

「吉本新喜劇の脚本を書いてみませんか?」。年末に新喜劇の同期と24年ぶりに再会したことがき

っかけとなり、新喜劇から脚本依頼がきました。芸人を引退し、小学校教員になるまでの期間、吉本新喜劇のイベントの演出助手をしていました。これに元芸人の経歴が合わり今回の依頼に至ったようです。



しかし、脚本の経験は全くのゼロ。当初はお断りする予定でしたが、エデュテイメントのチャンネルで、サイエンス新喜劇に携わるのは、実は3回目。過去2回は、元新喜劇座長の石田靖さんがMCを務める科学教育番組「かがくdeムチャミタス!」に出演させていた縁で、劇中にサイエ



ンスショーを取り入れる新喜劇の実験監修を担当しました。今回は、全ての流れを考えることのできる脚本という立場なので、たくさんサイエンスショーの要素をちりばめた「笑って学ぶサイエンス新喜劇」写真展「サイエンス」を開き、理科に詳しくなるといふよりは「理科って面白い」「もっと知りたい」を目指します。

舞台は4月27日、場所はYES THEATER(なんばグランド花月の横)で開催。大人は25

00円ですが、小学生以下は千円に設定しているので、「たくさん子どもたちが見に来てくれたらいいなあ」と考えています。

次の記事で大成功を伝えることが出来るように頑張ります! 脚本はまだまだ未完成ですが、ワクワクしています。2人の子どもが成人し、育児も一段落の立場になりましたが、まだワクワクできることがありますが、何歳になっても挑戦し続けることは大切ですね。

本コラムでは、エデュテイメントをテーマに面白い科学の現象や実践を紹介していきます。今年度もよろしく願います。